

平成27年度
視察等の届出・報告書
(届出番号 16~18)

平成27年度 視察等の届出・報告書 (16~18)

届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
16	2月2日 ~3日	河部辰夫	小田康文・草地秀育・ 妹尾昇・竹原茂三・ 築澤敏夫・初本勝	福岡県福岡市・地方議会研究所（議員定 数・報酬について）・佐賀県吉野ヶ里町・ 嬉野市（観光資源の調査研究）

議長 副議長 局長 GL 係 回覧

様式第1号

平成 28年 1月 19日

真庭市議会
議長 竹原茂三殿



真庭市議会議員 河部辰夫

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

- 1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動
- 2 訪 問 先
福岡県 博多駅 TKP 博多会議室 (研修)
佐賀県 吉野ヶ里 嬉野市視察
- 3 内 容
議員報酬州にかかる研修と現地に於ける
観光資源の調査研究による
- 4 行 程 別紙のとおり 2/2 ~ 2/3
- 5 事務局から訪問先への依頼 必要 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

視察研修参加者メンバー

河部辰夫、初本勝、築沢敏夫、妹尾昇、竹原茂三、草地秀育、小田康文 7名

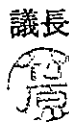
行程表

2月2日(火曜) 真庭市役所～～水田バス停～～岡山駅～～博多駅 - 「TKP博多駅
5:30 6:00 7:16さくら541号 9:07着

南会議室」(研修) - 博多駅～～佐賀駅～～吉野ヶ里遺跡(視察)～～嬉野(宿泊)
9:30~12:00 13:32みどり13号~~ 14:15~~ 15:00~16:00 ~~ 16:50(温泉施設視察)

2月3日(水曜) 嬉野～～裕徳稲荷(視察)～～佐賀城(視察)～～佐賀駅～～博多駅
8:00~~ 9:00(パワースポット) ~~ 11:30 ~~ 12:00~12:13かもめ18号

博多駅 ~~~~ 岡山駅～～真庭市
12:53~14:04のぞみ36号 15:48 17:10帰着



報告書

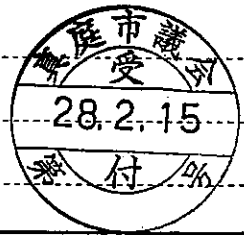
平成28年2月15日

真庭市議会議長 竹原茂三 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 河部辰夫 

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1 日時	自 平成28年2月2日(午前・午後) 5時30分 至 平成28年2月3日(午前・午後) 5時30分
2 場所	福岡県博多市 博文議会研究所 受講センター 及び佐賀県吉野ヶ里遺跡の視察、嬉野温泉地 の現状視察
3 用件	議員定数、議員報酬 への研修、 観光資源への視察、現地視察研修
4 概要	別紙報告書のとおり



議員報酬について

講師 廣瀬 和彦 (明治大学講師)

平成28年2月2日 河部辰夫 初本 勝 築澤敏夫 妹尾 昇 竹原茂三 草地秀育
小田康文 7名参加

議員報酬を決定するにはどのような考え方で、どのような手法で決定すればいいか具体的な講演であった。

*議員定数と議員報酬は別物である。

- ・議員定数は、真庭市約828km²、人口約48,000人で、市民皆様の多様な意見を把握するのに必要な議員は何名が妥当なのか。
- ・議員報酬は、一般の概念の他に、その地位に対し、職務と責任に応じて与えられる給付的性格を有する給与的な性質をも併せ有する広い概念で用いられている面もある。

*各自治体の事例

- ・北海道白老町 (2011年)

町長が、「多様な町民意見が反映されるよう、幅広い年齢、階層からの立候補を促す」「議会会議日数が年間200日を超え、兼職が困難」などの理由から、議員報酬を月額44%引き上げる条例改正案を9月定例議会に提案しようとしていたが、10月30日の町長選、町議選以降に持ち越し、いまだ報酬の引き上げはない。

- ・福島県矢祭町

全国で唯一、平成20年3月、財政難を背景に議員も身を切るべきと、議員報酬に「日当性」を導入して先進的な取り組みとして脚光を浴びたが、現在存廃の分岐点に立たされている。なぜなら月20万8千円だった月給制を廃止、議員活動を行った日は3万円を支給。そうするとおおむね年間40日程度の活動なり、年収では120万円ほどとなり立候補する議員がいなくなっている。議員はアルバイトでしかなくなっている。

等々具体的な例で非常に解りやすい講演であった。

結論として、議員報酬算定の基準方式は5通りある。

- 1) 市政への貢献度を把握し、それを基に議員報酬を定める考え方
- 2) 執行部職員の給与を基準とする考え方
- 3) 国会議員の歳費を基準とする考え方
- 4) 日当制を根拠に算出する方法
- 5) 当該団体の長の給与額を基準とする考え方
- 6) 比較方式 (他の自治体との)
- 7) 議会費の割合を一定とし算出する方法

以上7通りの方法がある。

廣瀬先生は、5)の当該団体の長の給与額を基準とする考え方で決定するのが、ベターではないかとの事であった。

*市長の給与×議員の活動日数（議員報酬として算定できる日数）／市長の活動日数＝議員報酬

この方式である。

この議員報酬算出方式は、山梨学院大学の江藤俊昭教授と同じ考え方である。

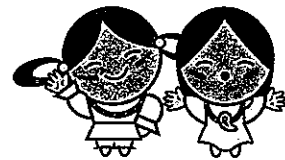
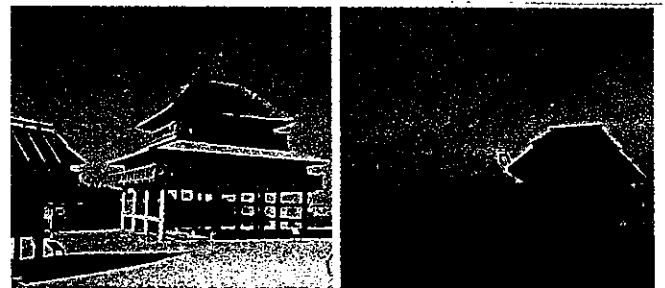
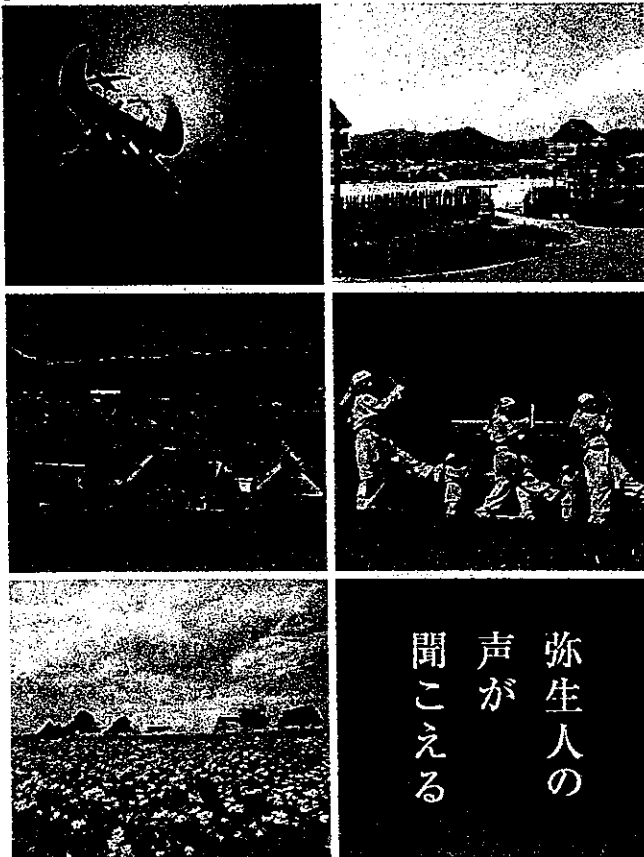
がこの方式は議員各々の活動実態を調査しなければならない。三重県議会、千葉市議会、会津若松市議会、葉山町議会等では、この方式で議員報酬を積算している。

吉野ヶ里歴史公園視察報告 平成28年2月2日15時

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町にある。

旧石器時代から中世に至る遺跡。1986年からの発掘で弥生時代の大規模な環壕集落跡や墳丘墓などが発見された。また、ぎ志和人伝の記述との関係で注目されている。弥生時代は約700年間も続く長い時代であり、吉野ヶ里遺跡は、この長い弥生時代の全ての時期の遺構遺物が発掘発見された学術的価値の高い遺跡である。

集落が最盛期を迎える「弥生時代後期後半（紀元3世紀頃）」を復元整備対象時期として、これまでの発掘調査成果をもとに復元整備を行っている。国の特別史跡に指定された大切な文化財である。公園の整備にあたっては、その遺跡を損なわないように発掘調査後は盛土で保存し、その上に建物の復元や樹木の植栽を行っている。カメ棺墓列、北墳丘墓、北内郭、南内郭、倉と市、古代植物の森など、見どころ一杯の施設である。



吉野ヶ里歴史公園

YOSHINO GARI HISTORICAL PARK

視察報告書

月日：平成 28 年 2 月 2 日

場所：佐賀県嬉野市うれしの温泉街

概要：人口：27,464 人 面積：126.41 km²

嬉野市は観光と茶業を基幹産業としており、市役所内にはうれしの温泉観光課、うれしの茶振興課を設置して産業振興を図っている。

観光産業の状況：

平成 25 年度年間観光客数：1,957 千人

内訳：日帰り客数：1,442 千人、宿泊客数 515 千人（過去 3 年間に千人ずつ増加）

しかし、平成 2 年と比較すると宿泊者数は 53%減少しており、日帰り客は 36%増となり、宿泊と日帰りが逆転した。

宿泊人数の減少幅は平成 22 年と平成 17 年との比較ではマイナス 15%であり、じゃらん宿泊旅行調査による全国の減少幅マイナス 5%よりも突出している。

平成 22 年度年鑑観光消費額：約 136 億円

内訳：宿泊費 43%、飲食費 32%、土産品費 17%の順である。一人当たりの消費額は 7,141 円であった。

最盛期の平成 2 年と比較した場合、宿泊費 35%減、飲食費 26%減、土産品費 11%増である。

宿泊人数の減少が観光消費額の減少に大きく影響している。土産品費の増は特産品の商品化が良い効果をもたらしていると思われる。

（嬉野市観光振興プランより抜粋）

観光振興のための施策：

平成 24 年 3 月に嬉野市観光振興プランを策定した。

その目的は、嬉野市が有する自然、歴史、伝統、文化及び各種観光交流施設など、それぞれが持つ魅力を引き出すと共に、さらに魅力のある観光事業を推進することにより、観光交流人口を増やし、地域全体の経済活性化を図ることを目的としている。具体的には外部環境及び嬉野市の現状把握、市場調査の実施、観光資産の認知・関心ギャップの分析を実施し、方向性の決定を行っている。

その中で注目すべきは既に3年以上前から訪日外国人旅行者(インバウンド)の現状把握を行い、インバウンドを増やすためには何が課題であるかを分析していることである。その内容は、一つには各国各地域の旅行ニーズ、観光事情、旅行者が参考にする情報源などに即したプロモーション活動が、いまだ手探りであること。そして交通標記などの多言語対策、フリーWi-Fi環境や端末の設置といったICT環境整備などの最低限のハード面整備が必要であるが、それ以上に必要なのは外国人のニーズに沿った、その地域ならではの「魅力的コンテンツ」である。つまりソフト面の整備であると考えられる。これについては国内旅行者についても同様であると考えられる。

嬉野市観光振興プランでは次の4つの方針により観光戦略を立案してある。

1) 差別化

国内観光マーケットが成熟し、少子化も相まって宿泊旅行は微減傾向にある。そのような現状において、他の観光地とは異なる価値を提供すること(差別化)が必要である。

2) 新商品開発

多様なニーズに対応する受け皿として、新たな商品を積極的に開発する必要がある。

特産品のうれしの茶、温泉湯豆腐を使った新商品の開発と提供、または宿泊施設における宿泊プランの開発や新商品を介した観光施設同士の連携を強く意識すべきである。

3) 人材育成

差別化、新商品開発という主としてソフトによる戦略を実現するに当たって、最も重要な資源は「人」である。人材育成の支援こそが観光戦略の中核をなすものであると考えられる。

4) インバウンド対策

全国的に微減が続く国内旅行者に対して、訪日外国人旅行者数は確実に増加していくことが見込まれる。現状でのシェアは小さいものの、今後を見据えて対策を本格化していくことが必要である。外国人旅行者に喜ばれる観光地作りを進めていくことが重要である。

うれしの温泉街の現況:

現地での聞き取り調査によると、上記の4つの方針はいずれもソフト事業の推進がほとんどであり、嬉野市で観光業、飲食業に携わる市民が積極的に様々な新グルメ商品開発、宿泊プラン開発、魅力有るお土産品開発、観光施設PR強化、インバウンドに関するおもてなしセミナーなどに積極的に参加しているという事であった。

夜間、温泉街を散策してみると「第16回うれしのあったかまつり」を開催中であった。温泉街の中心にある温泉公園を中心に多種多様な提灯や灯籠で温泉街一帯を照らし、暖かいおもてなしの心を観光客にPRしていた。その中で目を引いたのは、「百句百灯華灯籠」と「私たちの夢灯り」いう灯籠であった。「百句百灯華灯籠」は全国から公募により集められた俳句から百句を厳選し、和紙に書いてフィルムでカバーした物を灯籠に張ったものである。大変風情があるものであると同時に、俳句を応募して選ばれた人が自身の作品を見た

めに嬉野温泉まで足を運ぶというインセンティブが見込まれており、あまり費用を掛けることなく観光イベントを実施し、なおかつ新規の来訪者も開拓するという二重の効果をもたらしていることが確認できた。

また、「私たちの夢灯り」は小学生を対象とした灯籠で、小学生が書いた絵を灯籠に張ったものである。これによりこの「第16回うれしのあったかまつり」が大人だけを対象とした祭りでは無く、老若男女全ての世代を対象にしたイベントであり、かつ将来の顧客に対する刷り込み効果も期待されているのではないかと感じられた。仮にそうではなかったとしても、来場者が小学生の書いた絵を見てにこやかな表情でその場を離れることができれば、嬉野温泉の良い思い出を持ち帰ることになり、リピーターになってもらえる可能性は上がるのでは無いかと思われた。

毎月宿泊施設対抗でスリッパ卓球選手権を開催するなど、宿泊施設が連携して宿泊客をもてなす行事が実施されており、最小限の費用で最大限の効果が得られるように努力していることが感じられた。

総評:

翻って我が湯原温泉に今後どれだけ投資すれば宿泊客数は増加に転ずるのか、これまで投資した経費とその効果の判定はなされているのか。何時になったら行政依存の地域振興(ハード事業)が住民中心のソフト事業に転換するのか。いつまで真庭市が直営で、年間数百万円の委託料を支払って足温泉館を維持し、そこを利用して生計を立てている人に利用させなければならないのか。なぜ払い下げを行わないのか。どうすれば行政依存では右肩下がりの現状を改善することはできないのだということを理解してもらえるのか。ということについて改めて考えさせられた。

観光振興はハード事業よりもソフト事業を重視すべきで、人材育成がキーであるということに、改めて気づかされた視察であり、真庭市も早期に観光振興のための計画の策定を行うべきであると気付かされたことを報告します。

平成27年度 視察等の届出・報告書 (16~18)

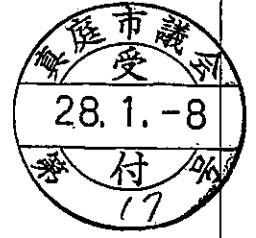
届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
17	2月4日 ~5日	古南源二	氏平篤正・原秀樹・ 福井荘助・福島一則	千葉県松戸市(畑で婚活)・東京都・地方 議員研究会(樋渡啓祐氏講演「市役所を動 かす質問の仕方」)




様式第 1 号

平成 28 年 1 月 8 日

真庭市議会
議長 竹原茂三 殿



真庭市議会議員 古南源二 

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

千葉県松戸市根本378-5
松戸市役所農政課
東京都中央区八丁堀1-9-8八重洲通ハタビル
「アットビジネスセンター東京駅八重洲通り」

3 内 容

松戸市では「畑で婚活」の様子を調査、研究する。
樋渡啓祐氏の「市役所を動かす質問の仕方」聴講。

4 行 程

別紙のとおり 2/4 ~ 3/5

5 事務局から訪問先への依頼

必要 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。同行参加者：氏平篤正・原秀樹・福井荘助・福島一則以上

2月4日～5日の松戸市及び東京研修の行程表

2月4日(木)

真庭市出発 8:30 岡山発 10:05 羽田着 11:15

自家用車で移動 JAL234便 B737

京急 羽田発 品川発 松戸着

11:31 11:47 12:26

11:51 12:07 12:46

モノレール 羽田発 18分 浜松町 2分 新橋 30分 松戸

11:31 2駅 11:49 5駅

松戸市役所
14:00～15:30まで

宿泊 スーパーホテル八重洲の湯 中央区八重洲2-2-7 03-3241-9000 全館禁煙/高濃度人工炭酸泉
--

2月5日 徒歩移動 10:00 ~ 16:30

講義開始 終了予定

電車移動 羽田発 19:35 岡山着 21:00 真庭着 22:30

JAL241便 B738

①説明場所が議会棟1階第1会議室だそうですが場所が分かりにくいので

松戸市役所正面玄関入ってすぐの受付で「岡山県真庭市より視察にきましたので議会事務局の方にお伝えください」

と依頼して待っていると議会事務局の職員が迎えにきていただけるそうです。

②説明者は農政課の職員の方がされます。


③事前質問は送らずに当日説明後、各自質問をするということにしています。



様式第 2 号

報 告 書

平成 28 年 2 月 20 日

報告者 真庭市議会議員 氏名 古南源二 

下記のとおり政務活動費を使用して調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を代表して報告いたします。

1	日 時	自 平成28年 2月 4日 (午前・午後) 8時 00分 至 平成28年 2月 5日 (午前・午後) 10時 30分
2	場 所	千葉県松戸市根本378-5 松戸市役所農政課 東京都中央区八重洲1-9-8八重洲通りハタビル アットビジネスセンター東京八重洲通り
3	用 件	松戸市では「畑で婚活」の状況を調査研究した。 東京では、樋渡啓祐氏の「市役所を動かす質問の仕方」を聴講した。
4	概 要	参加者：氏平篤正、原秀樹、福井荘助、福島一則、古南源二

松戸市では、体験型農園婚活・新規就農者創出業務（通称畑婚）について説明を受けた。農家の後継者の配偶者創出。新規就農希望者の発掘・都市農業の理解を深める・農業体験や交流会を行うことでお互いの人柄を知ることがを目的に平成 26 年度より事業を開始している。1 回で終わることなく種をまき、約 1 か月収穫まで行う点が他の婚活と違うところだ。

事業の概要は、特定非営利活動法人「クリエイティブまつど工房」に随意契約で

委託している。選定理由は、代表者は農家組合長であり農家からの信頼が厚い、色々な市民活動に携わっており、市の事業に熟知している。幅広い年齢、業種との人脈と人望があり、イベントに必要な機材を保有していることから選ばれている。

事業費は年間年間70万円で委託されている。内容は、農地借地代、企画運営費、人件費、業務管理費（野菜等の管理）、種代、イベント等の案内通信費、消耗品費等である。

婚活参加資格は独身で農業に従事していること。実家等（親戚）が農業を営んでいること。農業に関心のある人。※市内の農業者を優先し、2回（種まき、収穫）とも参加出来る人を優先しています。



募集活動は、市の広報誌に掲載やJAとうかつ中央に協力してもらいチラシ、ポスター、ホームページなどで募集した。

実施は、3グループに分けて男女15～20名程度で行った。Aグループは20歳～35歳。Bグループは20歳～45歳。Cグループは年齢不問で、重複参加は可能として行った。各グループとも各2回開催した。Aグループは種まき9月13日（日）収穫10月25日（日）。Bグループは種まき9月27日（日）収穫11月15日（日）Cグループは種まき10月4日（日）収穫11月29日（日）。種類は1ヶ月で収穫できる小松菜、水菜、ラディッシュを栽培した。天候が良すぎて大きくなり過ぎた。

費用は、男性5000円女性2500円。農作業後のBBQ交流会の2回分として徴収した。

場所は、圃場については農家から借りた圃場を0.8m×1.2mの大きさを一組の男女で作業をする。区分けされた圃場をスコップで耕し種を播く、育った野菜を収穫するというものだ。BBQはJAの経済センターの軒下を利用して交流会BBQを開催した。

事業状況、Aグループは播種日、男性11名（内農家8名）女性8名。収穫日、男性5名（内農家3名）女性5名。Bグループ播種日、男性17名（8内農家9名）女性17名。収穫日男性17名（内農家8名）女性17名。A・B重複は男性3名女性3名。A・C重複は女性1名。B・C重複は女性6名。述べ141名が参加したことになる。サンマや収穫した野菜も使ってBBQを楽しんでいた。

アンケート結果、男性37人中20代6人、30代14人、40代14人、50代3人。女性35人中20代4人、30代15人、40代13人、50代2人、無回答1人。最高齢は女性56歳だった。参加者の住所地は、松戸市41人、市外26人無回答5人。市外からは市川、柏、横浜、東京都。情報源は家族や友人27人、広報まつど14人、農協12人、市のHP9人、新聞6人、農政課のお知らせ1人、その他9人、無回答1人。

婚活の参加目的は、結婚相手を見つける本来の目的のほか、多くの方と知り合え異業種交流が出来る、農業体験ができて良かったという声も寄せられている。

将来の農業へのかかわり方や婚活に参加した感想は、女性については農業は手伝い程度や自分の仕事を続けたいとの回答が多く、結婚後も自立を望む女性が多かった。

畑婚の感想については、「良かった」、「どちらかと言えばよかった」が半数以上を占めた。

成果、委託業者が畑婚以外のところでも委託業務以外のサポート（ボウリングなど）を行ったこともあり 26 年度の畑婚で出会った一組が結婚した。27 年度にもお付き合いにつながったという情報もあり、成功と思われる。

課題としては、年齢層の片より、参加者の固定化等人集めが難しい。またイベントのマンネリ化も気になるところだ。野菜の生育が天候に左右されるところが難しく、27 年度は温かく大きく成長し過ぎた。

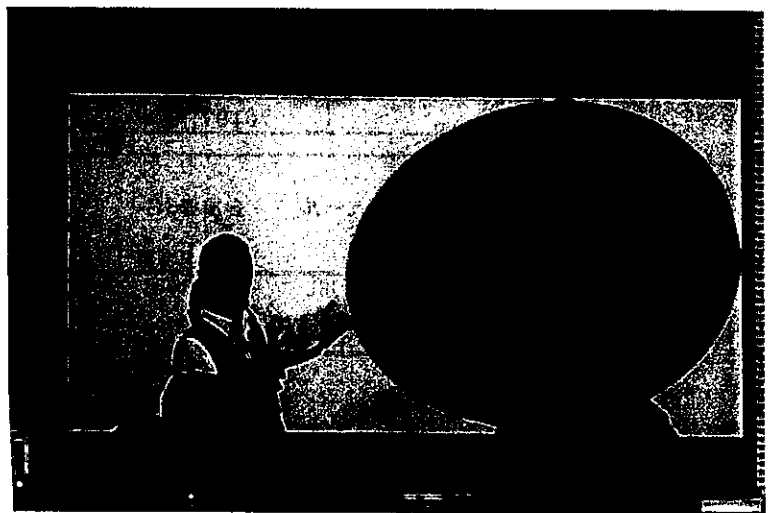
視察の感想、70 万円の予算で一組決まれば成功と言っても良のではないかと感じた。

元武雄市長樋渡裕介の講座～「より良い質問のために」～

議会はチェック機関というが、私に言わせれば、市長は最高責任者で、副市長は社内取締役、議会は社外取締役で良いと思っている。なぜならば、チェックばかりされていたら物事が進まなくなるからである。

行政の職員は、根本的に「変える」ということにネガティブである為、議員に対しても本能的にネガティブになる。

議会を市民に見てもらおうことが、議会不要論を言わせないことである。そのためにはあまり議会のシナリオを作らないことだ。一般



質問をすることはマイナスと言われていることをプラスになるように変える事である。地方議員は市民から頼りになる存在にならなければならない。テレビを録画して、正副議長、議会運営委員会委員長も情報を共有して知識を持つことが必要である。また、情報発信することも必要でありフェースブックを利用することも良い。

武雄市の副議長は、一般質問の内容を有権者から来るフェースブックからも利用している。この事が有権者には受けるらしい。

一般質問に於いて執行部は面白くする責務はない。市民が見ても一般質問は面白くない、面白い方がいいから議員が面白くするしかない。3月の定例議会の議案はありふれていて面白くない。臨時議会で議案に対して質問をすると面白くなる。

議員と答弁調整はしない。答弁書について、市長にも数字のみ伝えるようにしていた。

武雄市では、市民に判りやすいように(CATV で中継)議場に 60 型のモニターを入れ資料等が市民にも見えるようにした。一般質問の事を後日パンフレットにして配布するのが良い。

市の事業を一般質問のネタにすると市民にとって分かりやすく面白く見える。

市では、一般質問の対応状況の一覧表を作り、進捗状況が見えるようにした。また、決算を一般質問でやると面白い。常任委員会でするのも面白い。

議員のイメージカラーは大切にするほうが良い。また、一般質問も話すスピードを変えたり

抑揚をつけて話す方が受け入れられやすい。強調するところはゆっくりと話す。

一般質問の仕方は、導入、賞讃、提言の順で話すと良い。また、事業について話す場合、前年度と数字で比較することも良い方法、執行部を褒める事も良い方法である。次に、執行部の今後の行動目標を聞くのも良い。提言に持って行き、私の提言ではこの様になるというように進めるのが良い。玉は市長に持たせておいて預けた形で終わるのが良い。たとえば、「私の提言の検討結果は次回にお聞きます。」というように行うべきである。

以上

平成28年2月4日～5日松戸市視察・東京研修会計書		
政務活動費対応費用(一人分として)		
航空券+ホテル代	42800	円
研修費用	30000	円
手土産	720	円
研修費振込手数料	96	円
羽田～松戸まで	880	円
松戸～東京	390	円
東京～羽田	650	円
高速代・ガソリン代	661	円
合計	76197	円

2月4～5日の研修スケジュール		参加者5名	
2月4日(木)			
真庭市発8:00	自家用車	岡山空港発	10:05
	総社まで乗り越し	JAL234便 B737型	
		モノレール⇒山手線⇒JR常磐線	880円
	研修	13:40～	15:30
		JR松戸駅～東京駅	ホテル着
		常磐線快速	390円
3月5日(金)			
	ホテル発9:30	研修10:00～14:30	東京駅⇒羽田空港
			山の手線⇒モノレール
			JAL241便 B-738型 19:35発
			650円
	岡山着	21:00	真庭着 22:30

松戸市・東京会場で出会った人

藤川優里

松戸市議会議員

〒271-8688
千葉県松戸市本町八丁目5番5号
FAX 047-368-1106

川野康仁

松戸市議会事務局
議事調査課

中山路代

松戸市議会事務局
議事調査課

〒271-8688
千葉県松戸市本町八丁目5番5号
FAX 047-368-1106



松戸市役所
経済振興部 農政課

議政課長
渋谷 和夫



〒271-8688
千葉県松戸市本町八丁目5番5号
TEL 047-368-7328
FAX 047-368-1106



松戸市役所
経済振興部 農政課

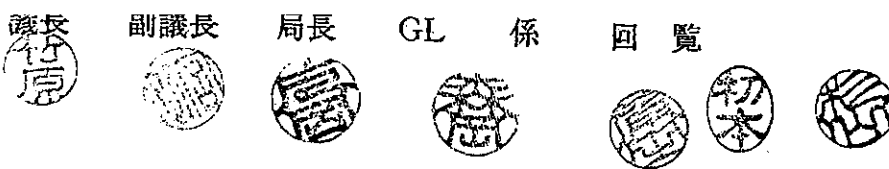
主任
谷口 美智枝



〒271-8688
千葉県松戸市本町八丁目5番5号
TEL 047-368-7328
FAX 047-368-1106

平成27年度 視察等の届出・報告書 (16~18)


届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
18	2月5日 ~6日	緒形尚		東京都・地方議員研究会(樋渡啓祐氏講演 「よりよい一般質問のために(応用編)」)



様式第1号

平成28年 1月 25日

真庭市議会
議長 竹原 茂三 殿

真庭市議会議員 緒形 尚 

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 ~~要請・陳情活動~~

2 訪 問 先

東京：アットビジネスセンター東京駅八重洲通りハタビル

3 内 容

よりよい一般質問のために（応用編） 講師：樋渡啓祐氏

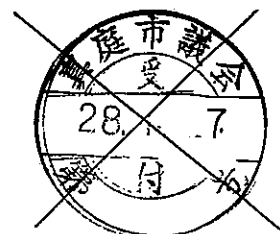
- ・市長として受けた良い質問と悪い質問
- ・一般質問と政策実現の関係
- ・効果的な質問、役所を動かす質問とは
- ・模擬議会 ～模擬答弁を行い助言します～

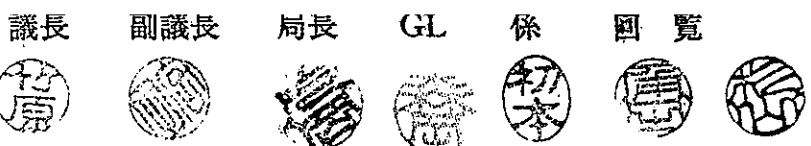
4 行 程 別紙のとおり 2/5～6

5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要



(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。





様式第2号

報 告 書

平成28年 3月 3日

真庭市議会議長 竹原茂三 殿



報告者 真庭市議会議員 氏名 緒形 尚

下記のとおり政務活動費を使用して「調査研究・研修会・要請陳情活動」をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 平成28年 2月 5日 (午前) 午後) 5時 00分 至 平成28年 2月 6日 (午前) (午後) 1時 30分
2	場 所	東京：アットビジネスセンター東京駅八重洲通りハタビル
3	用 件	よりよい一般質問のために (応用編) 講師：樋渡啓祐氏 ・市長として受けた良い質問と悪い質問 ・一般質問と政策実現の関係 ・効果的な質問、役所を動かす質問とは ・模擬議会～模擬答弁を行い助言します～
4	概 要	別紙にて報告

研修報告書

今回、一般質問についての研修会があり参加しました。

以前から、一般質問について自分なりに課題をみつけていて、受講することで一般質問の質の向上、及び課題の解決を目的とすることと、議会全体の一般質問の質の向上に取り組むために受講しました。

一般質問の重要性が認識されかつ活発化し政策提案に繋げていかなければいけないが、中には質問の内容が単なる事務的な見解をただすに過ぎないもの、制度の内容の説明を求めるもの、議案審議の段階でただせるもの、あるいは特定の地区の要望を受けてするものなど、一般質問としては適当でないものも見受けられると感じている。一般質問は、大所高所からの政策を建設的立場で論議すべきであること、また、能率的会議運営が必要なことを十分理解して簡明でしかも内容のある次元の高い質問を展開したいものだと思っている。

今回の研修で学んだことは、改めて一般質問が政策決定の重要な要素であること。議員は質問をするのが仕事ではなく、提言するのが仕事であること。旬な話題をどう取り入れるか？何が切実な課題なのか？等々を明確にし、一般質問の構成を考える。まず、導入（大きな話し）⇒数字を用いて⇒執行部に対して賞賛⇒再度数字を用いて⇒提言する（最後にやりたいことを言う）

しゃべり方でも質問の質は上がる（東国原元知事は、しゃべりが上手だった。なぜかという、早くしゃべったり遅くしゃべったりすることでメリハリをつけて伝えたいことをしっかり伝える。スピードを変えることは必要である）

また、例えば真庭に対して明るい物語を作って一般質問で活かしていくことも手法である。体験や体感をしゃべることも大切で、自分の失敗談も良いネタになることもある。他の自治体の事例を含めて、良いことは取り入れることも重要である。最終的には、答弁不要でボールを投げつけて終わると良い。ボールを持って質問を終わらないことも大切だ。

一般質問に当たっては、通告の内容を基本にして必ず完全原稿を作成しそれによった力強い迫力のある質問を行い、2回目、3回目の質問を徹底することが特に大事である。

以上、多くのことを学ぶことができたと思います。今後、自分の一般質問の質の向上に大いに役立つ研修であり、議会全体の質の向上にも繋げていきたいと思いました。